

被災者つらさ 今は分かる



家屋から運び出した家財を手に持つ榎原明穂さん。七尾市能登島野崎町で。

能登半島地震の被災地では、さまざまな思いを抱えて活動に励むボランティアがいる。岐阜聖徳学園大2年の榎原明穂さん(20)＝愛知県半田市＝は、小学生以来10年ぶりのボランティア参加。2011年の東日本大震災の被災地で知り合った同世代の3姉妹と10年以上文通を続ける。「こんなに大変な状況を乗り越えてきたんだね」。子どもの頃は見えなかった現実を目にし、文通相手に思いをはせた。

(郷司駿成)

東日本大震災 13年

榎原さんはNPO法人「愛知ボランティアセンター」(名古屋)の活動に参加。強く冷たい風が吹いた2日、七尾市能登島野崎町で被害を受けた家屋から家財を運び出した。ボランティアに参加するのは3

宮城の3姉妹と文通榎原さん

能登で10年ぶりボランティア 愛知の学生



3姉妹から贈られてきた手紙＝榎原さん提供

回目。1回目は、震災から約1年半後の小学校3年生の時だった。父と一緒に訪れた宮城県石巻市十八成浜で、阿部ひなさん(19)、さくらさん(17)、もえさん(16)の3姉妹と出会った。本来の担当は弁当作りだったが、現地の人から「子どもにしかできないボランティアだよね」と促され、鬼ごっこやかくれんぼで遊んだ。後日、榎原さんが写真を送る際に、3人への手紙を付けたことで一人一人と文通が始まった。震災について避けたわけではないが、話題は学校での出来事や趣味の話ばかり。3人と会ったのは今まで3回だけで、最後に会ったのも8年以上前。直接の連絡先も知らない。それでも「手紙ならマイペースで続けられるし、文字から個性や前に返事をしたためた。



報道部	076(233)4613
代表	(261)3111
FAX	(265)7490
小松支局	0761(22)0343
FAX	(22)0200
白山支局	076(275)0626
FAX	(274)9105
七尾支局	0767(53)0498
FAX	(53)6887
加賀通信局	0761(72)0433
FAX	(72)0558
輪島通信局	0768(22)0306
FAX	(23)8025
羽咋通信局	0767(22)0463
FAX	(22)8022
津幡通信部	076(289)2331
FAX	(288)8210
能美通信部	0761(57)1330
FAX	(57)1319
穴水通信部	0768(52)0429
FAX	(52)8026
能登通信部	0768(62)0120
FAX	(62)8011

メール	hokuchu@chunichi.co.jp
購読(販売部)	10:00-16:00 (0120)461051
広告(広告部)	9:30-17:30 076(233)4640
催し(事業部)	9:30-17:30 076(233)4642
掲載写真・出版物(中日サービス)	9:30-17:30 076(221)9121
折込広告(折込センター)	9:00-17:00 076(291)7301

石川さん情報しるし
「ゆるゆるさんぽ」は加賀市・山代温泉を散策。喫茶店「熊の巣」を訪問。自慢は能登豚を使